



令和7年11月6日に、今年度消防学校を卒業して所属に戻ってきた2名を対象に消防長査閲を実施しました。

この消防長査閲では、消防学校で習得した基礎技術が現場で確実に発揮できるかを確認するとともに、配属後に積み重ねた経験を活かし、より実践的な能力を高めることを目的としています。

この査閲では、火災現場から要救助者を救出する救助訓練、消防車両からホースを迅速に延長して放水する消火訓練。規律、統制、行動の統一を目的とした訓練礼式など、多岐にわたる内容を実施しました。

初任科卒業後の2名は、今回の訓練を通じて消防士としての責任と使命を再確認し、現場活動に活かしていきます。

当組合では、今後も継続的な訓練を通じて職員の技術力と判断力を高め、市民の安心と安全を守るため、全力で取り組んでまいります。